

令和6年度 地域おこし協力隊の受入れ事業所・団体を募集します

地域おこし協力隊員とともに地域の課題解決や地域の活性化に取り組むことを目指す事業所・団体の募集を行います。募集内容等の詳細につきましては、鏡野町ホームページまたは、まちづくり課、各振興センターで配布する募集要項をご覧ください。

ご不明な点等ございましたら、まちづくり課までお問い合わせください。

1. 協力隊受入期間 …… 令和6年4月1日～令和7年3月31日まで
2. 応募者の条件 …… 鏡野町内に主たる事務所等を有する会社、法人、その他の団体
3. 応募方法 …… 応募用紙に必要事項を記入の上、持参または郵送で提出
4. 配布場所 …… 鏡野町ホームページ、まちづくり課、各振興センター
5. 応募期間 …… 7月3日(月)～10月31日(火)
6. 応募用紙提出先 …… 〒708-0392 鏡野町竹田660 鏡野町役場まちづくり課
7. 応募用紙の提出期限 …… 10月31日(火) ※必着

お問い合わせ先

鏡野町まちづくり課 担当:築山 電話(0868)54-2982

7月は“社会を明るくする運動”の強調月間です。

“社会を明るくする運動”は、すべての国民が犯罪と非行の防止と立ち直りについて考え、それぞれの立場で力を合わせて犯罪や非行のない地域社会を築こうとする全国的な運動です。

この運動は昭和26年に始まり、毎年多くの参加をいただきながら、今年で73回目を迎えました。

“社会を明るくする運動”のシンボルマークである『黄色い羽根』は、黄色いひまわりをイメージしたもので、地域社会があやまちを犯した人たちの立ち直りを支え、再び犯罪に手を染めさせないというネットワークを大きく広げていきたいという思いが込められています。

“社会を明るくする運動”と黄色い羽根の趣旨にご理解とご協力をお願いいたします。

お問い合わせ先

鏡野町総合福祉課 福祉係 担当:井上
電話(0868)54-2986 F A X (0868)54-2891



岡山大学より鏡野町へのメッセージ

中性子医療に関する連携協定時に、中性子医療研究センター長としてご尽力いただいた那須保友氏が、岡山大学の学長に就任されました。就任に際して鏡野町にメッセージをいただきました。

2023年4月より岡山大学学長に就任しました那須保友でございます。2017年度から5年間にわたり岡山大学中性子医療研究センター国際連携部門寄付講座開始に対するご支援を頂き誠にありがとうございます。

国際連携部門は、「国際連携教育研究部門」へと発展を遂げ、「創薬開発橋渡し部門」、「量子科学技術部門」、「分子イメージング部門」とセンターの部門を再編成し、更なる研究拠点形成を行っています。特に、研究目標にある世界トップレベルの研究拠点形成の1つとして、BNCT（ホウ素中性子捕捉療法）に関する中性子医療研究センター構想を立案し、現在積極的に推進を行っています。

また、オーストラリアに本部を置く国際原子力機関（IAEA）との連携は2022年9月26日に、BNCTの分野で、初のIAEA協働センターの指定を受けることになり、IAEA本部において協定書への署名が行われました。

更に学内及び学外における異分野融合方式での研究ネットワーク構築は、中性子医療研究センターの特色である新たなBNCT分野開拓に繋がる取り組みです。

岡山大学および中性子医療研究センターが一丸となり、社会情勢を見極め、政策や地域の思いを胸に刻み、医療分野のみならずいろいろな分野で今後も協力し、岡山大学と鏡野町の更なる発展につなげていきたいと思っております。



(IAEA第66回総会時：写真左より、在ウィーン国際機関日本政府代表部特命全権大使、IAEA事務次長、榎野 博史 岡山大学学長(当時)、那須保友 岡山大学理事(研究担当)・中性子医療研究センター長(当時。現岡山大学学長))

お問い合わせ先

鏡野町まちづくり課 担当:山本 電話(0868)54-2982